

2008年12月24日

各位

双日株式会社

双日、ブラジル石油化学最大手ブラスケム社とバイオ ETBE の長期売買契約を締結  
～バイオエタノール事業と合わせバイオ燃料チェーンを構築～

双日株式会社は、南米最大の石油化学会社であるブラジルのブラスケム社 (Braskem S.A.、本社:サンパウロ) と、バイオ ETBE の長期売買契約を締結しました。

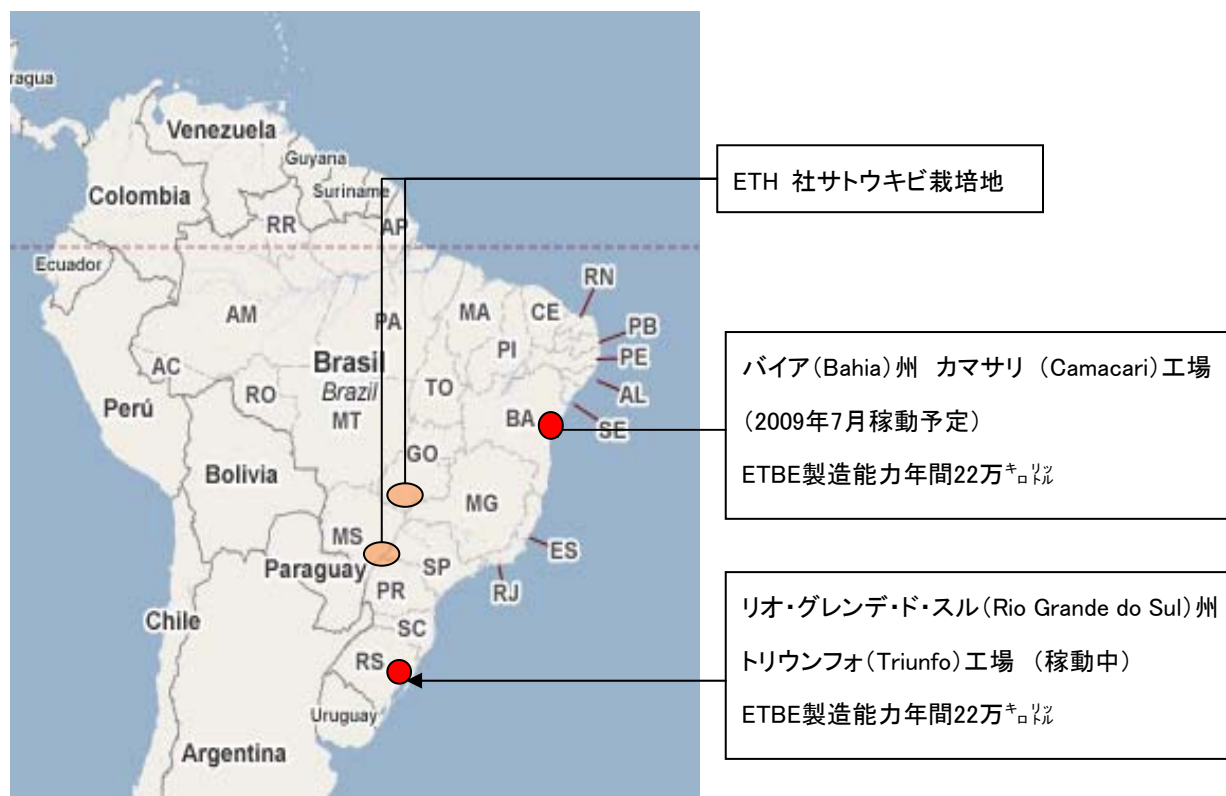
バイオ ETBE とは、Ethyl Tertiary-Butyl Ether の略称で、エタノール (43%) とイソブチレン (57%) を化合してできる素材です。穀物などの食糧需給への影響が少なく CO<sub>2</sub> 削減効果の大きいバイオマス燃料として期待されるガソリンの代替燃料です。

日本では、2005年4月28日に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」にて、「輸送用燃料におけるバイオマス由来燃料の利用」に取り組むことが決定しており、石油業界では年間84万<sup>キロリット</sup>のバイオ ETBE を2010年から本格的に導入する計画です。欧州でも政策的にバイオ ETBE の導入を進めており、既に年間約400万<sup>キロリット</sup>が流通しています。双日は、2009年よりバイオ ETBE の取り扱いを開始し、2010年には日本向け・欧州向けを合わせ、年間約15万<sup>キロリット</sup>の取り扱いを目指し、順次拡大を図ります。

バイオ ETBE に使用する原料のエタノールは、ブラスケム社の親会社であるブラジルの大手コングロマリットのオーデブレヒト社 (Odebrecht S.A.) と双日が共同出資するバイオエタノール・砂糖製造会社エーテーアガー・ビオエネルジア社 (ETH Bioenergia S.A) からも今後ブラスケム社に供給される見通しで、バイオエタノールの原料となるサトウキビ栽培から、エタノール生産事業、バイオ ETBE 生産事業とその輸出販売までを手がけることで、競争力のあるバイオ燃料サプライチェーンを構築します。

双日は、環境に配慮した新しい資源エネルギーの開発・利用が急務であるなか、バイオ燃料、排出権取引、化石燃料の効率的な利用などの環境関連ビジネスを積極的に推進し社会に貢献してまいります。

## 【ブラスケム社バイオ ETBE 生産工場周辺地図】



## 【参考資料】

### ■ブラスケム社

- 企業名： Braskem S.A.
- 本社： ブラジル サンパウロ
- 資本金： 53億7600万リアル（約22億5800万ドル）
- 概要： 南米最大の石油化学会社。

双日はブラスケム社と、塩化ビニール樹脂の中間原料である EDC（二塩化エチレン）の取引をはじめ 35 年以上の取引実績があり、同社の最大外国人株主です。

■ オーデブレイト社グループ

企業名： Odebrecht S.A.

本社： ブラジル バイア州

概要： ブラジルの最大手コングロマリット。

傘下に、南米最大の総合建設会社コンストルトーラ・ノルベルト・オーデブレイト (Construtora Norberto Odebrecht)、ブラスケムなどがあります。

■ エーテーアガー・バイオエネルギー社

企業名： ETH Bioenergia S.A.

本社： ブラジル サンパウロ

比率： 双日が 33.33%、オーデブレイト社が 66.67%を出資。

概要： 現在 2 つの工場が稼動中。サトウキビ圧搾能力 370 万ト/年、エタノール生産量約 20 万キロリットル/年、粗糖 13 万ト/年を生産。2015 年にはサトウキビ圧搾量 3800 万ト/年、エタノール生産量 270 万キロリットル、粗糖生産量 97 万トを目指しています。

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-2299